



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 森下仁丹 株式会社
 コード番号 4524 URL <http://www.iintan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 駒村 純一
 (氏名) 武貞 文隆

TEL 06-6761-1131

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,009	3.9	53	—	58	—	42	—
27年3月期第2四半期	4,820	△4.0	△158	—	△153	—	△159	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 163百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △156百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	2.09	—
27年3月期第2四半期	△7.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	13,805	8,718	63.1
27年3月期	13,352	8,611	64.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 8,718百万円 27年3月期 8,611百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	12.0	470	330.0	450	256.9	400	300.8	19.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	20,750,000 株	27年3月期	20,750,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	408,106 株	27年3月期	406,946 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	20,342,679 株	27年3月期2Q	20,343,853 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は当月6日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善傾向が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。但し、欧州経済の停滞、中国経済の減速などへの警戒感もあり、先行きは依然として不透明な状況となっております。

当社グループの属する業界も、健康意識の高まりが持続し、本年4月より食品の新たな機能性表示制度が始まる等大きな変革期を迎えました。但し、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとして本年6月からの機能性表示食品「ヘルスエイド シリーズ」の新発売など積極的な諸施策・諸活動を展開しております。その結果、売上高は5,009百万円と前年同四半期と比べ188百万円の増収となりました。

利益面においては、コストダウン諸施策による原価率の低減により、売上総利益は2,572百万円と前年同四半期と比べ197百万円の増益となりました。また経費の効率化等に努めた結果、営業利益は53百万円と前年同四半期と比べ211百万円の増益となり、さらに営業外損益を加えた経常利益は58百万円と前年同四半期と比べ211百万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は42百万円と前年同四半期と比べ201百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、機能性表示食品が消費者庁の受理の関係上6月以降順次の発売と若干ズレ込んだことや、オーラルケア商品を中心に力強さに欠け、その結果、ヘルスケア事業の売上高は3,207百万円と前年同四半期と比べ53百万円の増収に留まりました。

損益面では、プロモーション費用等の経費の効率化に努力しましたが、機能性表示食品のプロモーション活動の先行投資的な費用負担は大きく、セグメント損失は244百万円と前年同四半期と比べ35百万円の減益となりました。

② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルは引き続き順調に推移した一方で、医薬品カプセルやその他の受託は前年同期比で落ち込み、その結果、カプセル受託事業の売上高は1,794百万円と前年同四半期と比べ149百万円の増収となりました。

損益面では、コストダウン諸施策による原価率の改善や効率的な研究開発投資に努めた結果、セグメント利益は286百万円と前年同四半期と比べ234百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、13,805百万円と前連結会計年度末と比べ452百万円(3.4%)の増加となりました。総資産の内訳は、流動資産が4,847百万円と前連結会計年度末と比べ381百万円(8.5%)の増加となり、固定資産が8,958百万円と前連結会計年度末と比べ71百万円(0.8%)の増加となりました。流動資産の増加の主な要因は、たな卸資産及び売上債権の増加によるもので、固定資産の増加の主な要因は、投資有価証券の増加によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、5,087百万円と前連結会計年度末と比べ346百万円(7.3%)の増加となりました。負債の内訳は、流動負債が2,807百万円と前連結会計年度末と比べ437百万円(18.5%)の増加となり、固定負債が2,279百万円と前連結会計年度末と比べ91百万円(3.9%)の減少となりました。流動負債の増加の主な要因は、仕入債務の増加によるもので、固定負債の減少の主な要因は、長期借入金の約定返済に伴う減少によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は8,718百万円と前連結会計年度末と比べ106百万円(1.2%)の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,420百万円と前連結会計年度末と比べ80百万円(5.3%)の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は307百万円(前年同四半期連結累計期間は373百万円の増加)となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益58百万円、減価償却費356百万円、売上債権の増加49百万円、たな卸資産の増加378百万円、仕入債務の増加472百万円などによるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は136百万円(前年同四半期連結累計期間は59百万円の減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得108百万円によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は251百万円(前年同四半期連結累計期間は342百万円の減少)となりました。その主な要因は、長期借入金の返済190百万円、配当金の支払61百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月14日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,500	1,420
受取手形及び売掛金	1,497	1,547
商品及び製品	697	881
仕掛品	276	371
原材料及び貯蔵品	339	438
その他	162	196
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	4,465	4,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,320	2,238
機械装置及び運搬具（純額）	1,537	1,508
土地	2,217	2,217
建設仮勘定	163	154
その他（純額）	289	318
有形固定資産合計	6,528	6,438
無形固定資産	251	230
投資その他の資産		
投資有価証券	1,951	2,137
その他	155	152
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,106	2,289
固定資産合計	8,887	8,958
資産合計	13,352	13,805

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,002	1,474
1年内返済予定の長期借入金	380	355
未払法人税等	20	31
賞与引当金	165	165
返品調整引当金	46	76
売上割戻引当金	20	23
ポイント引当金	40	40
設備関係支払手形	27	87
その他	667	553
流動負債合計	2,369	2,807
固定負債		
長期借入金	1,197	1,032
繰延税金負債	704	757
退職給付に係る負債	468	489
その他	1	1
固定負債合計	2,371	2,279
負債合計	4,741	5,087
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	3,686	3,667
自己株式	△135	△136
株主資本合計	8,051	8,032
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	566	687
退職給付に係る調整累計額	△6	△1
その他の包括利益累計額合計	560	686
純資産合計	8,611	8,718
負債純資産合計	13,352	13,805

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	4,820	5,009
売上原価	2,446	2,437
売上総利益	2,374	2,572
販売費及び一般管理費	2,532	2,518
営業利益又は営業損失(△)	△158	53
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	9	12
研究開発補助金	3	—
その他	5	3
営業外収益合計	19	15
営業外費用		
支払利息	10	8
その他	3	2
営業外費用合計	14	10
経常利益又は経常損失(△)	△153	58
特別損失		
固定資産処分損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△153	58
法人税、住民税及び事業税	9	21
法人税等調整額	△3	△5
法人税等合計	5	15
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△159	42
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△159	42

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△159	42
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	120
退職給付に係る調整額	1	0
その他の包括利益合計	2	121
四半期包括利益	△156	163
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△156	163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整 前四半期純損失(△)	△153	58
減価償却費	351	356
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	26	25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	0
返品調整引当金の増減額(△は減少)	7	30
賞与引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
売上割戻引当金の増減額(△は減少)	△17	3
受取利息及び受取配当金	△10	△12
支払利息	10	8
固定資産処分損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	103	△49
たな卸資産の増減額(△は増加)	205	△378
仕入債務の増減額(△は減少)	△235	472
その他	109	△198
小計	397	315
利息及び配当金の受取額	9	11
利息の支払額	△10	△8
法人税等の支払額	△23	△11
営業活動によるキャッシュ・フロー	373	307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47	△108
無形固定資産の取得による支出	△12	△26
投資有価証券の取得による支出	△3	△6
補助金収入	3	3
その他	△0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59	△136
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△190	△190
配当金の支払額	△151	△61
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△342	△251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△29	△80
現金及び現金同等物の期首残高	1,181	1,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,152	1,420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,153	1,645	4,799	21	4,820	—	4,820
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	152	152	△152	—
計	3,153	1,645	4,799	174	4,973	△152	4,820
セグメント利益又は損失(△)	△209	51	△158	0	△158	—	△158

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,207	1,794	5,001	7	5,009	—	5,009
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	139	139	△139	—
計	3,207	1,794	5,001	147	5,148	△139	5,009
セグメント利益又は損失(△)	△244	286	41	12	53	—	53

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。